

電子書籍で標準仕様書

改修工事などに旧仕様書も

公共建築協会と豊文堂は14日、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）などを電子化した電子書籍を発行した。同協会の「DIGITAL ARCHIVES（電子書籍閲覧販売システム）」から、インターネット（月額課金）型と売り切り（閲覧権購入）型を併用してサービス展開する。

数百ページにおよび、携帯（平成16年～31年版、全6冊）が難しい標準仕様書を電子化することで、建築分野のDX（デジタルトランスフォーム）推進や、コロナ禍を契機とした多様な就労形態の広がりに対応する。電子化するのは、△公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版▽同仕様書（元年～13年版、全4冊）△民間（七会）連合協定工事請負契約款に適合した工事共通仕様書（令和5年版）――となる。

現行の標準仕様書についても、紙の書籍と同じ価格で閲覧権を販売し、旧仕様書はま

とめて、毎月550円（税込）のみのサブスクリプションで閲覧できる仕組みとした。旧仕様書を電子化したことにより、改修工事などの際に、建築当時の各種規定などを

参考にできる。ゼネコンや設計事務所などでは、保管スペースの関係で古い仕様書などが破棄されたり、日常的に取り出せない場所に保管されたりすることは多いとい

う。電子版は、キーワード検索が可能なほか、参照先となる別規定へのジャンプもできる。閲覧は、インターネット瀏覽器（ブラウザベースの電子書籍リーダーBinB（ビー・イン・ビー））を活用する。パソコンのほか、iPhoneなどのスマートフォンやタブレットにも対応し、現場でも閲覧がしやすい。

同協会は、今後の利用状況やニーズを見極めながら、必

要に応じて協会発行の他書籍

の電子化にも取り組む考

えだ。

**日刊建設通信新聞
2024.2.15付 2面**

工事標準仕様書の 電子書籍版を発行

専用サイト開設

公共建築協会（藤田伊織
会長）と豊文堂（千葉真茂

原市、杉本充代表取締役）は

14日、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）／

旧建築工事共通仕様書」の電子書籍版を発行すると発表した。同協会が専用サイト「DIGITAL ARCHIVES（電子書籍閲覧販売システム）」を同日に開設した。利便性の向上や技術的理

解の促進が狙い。利用者の要望や利用実績などを踏まえ提供内容の

充実を図っていく。

対象は、△「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（2022年版）▽「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（04～19年版、全6冊）△「建築工事共通仕様書」（1989～2001年版、全4冊）▽「民

間（七会）連合協定工事請

負契約款に適合した工事共通仕様書（23年版）」。

（04～19年版、全6冊）△「建築工事共通仕様書」（1989～2001年版、全4冊）▽「民間（七会）連合協定工事請負契約款に適合した工事共通仕様書（23年版）」。

（東京都渋谷区、鎌田純子社長）が提供する電子書籍リーダー「BinB（ビー・イン・ビー）」を活用する。サブスクリプション（定額支払い制）と閲覧権を購入する売り切り型

から選ぶことができる。

**日刊建設工業新聞
2024.2.15付 2面**